

藤沢市道の道路標識に関する条例の制定について  
藤沢市道の道路標識に関する条例を次のように制定する。

2012年（平成24年）12月3日提出

藤沢市長

鈴木恒夫

### 藤沢市道の道路標識に関する条例

（趣旨）

第1条 この条例は、道路法（昭和27年法律第180号）第45条第3項及び道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（昭和35年総理府・建設省令第3号）第3条の2の規定により条例で定める市道に設ける道路の案内標識及び警戒標識並びにこれらに附置される補助標識（これら道路標識の柱部分を除く。）の寸法について、必要な事項を定めるものとする。

（寸法）

第2条 道路標識（次条に規定するものを除く。）の寸法及び文字の大きさは、別表のとおりとする。

（文字の大きさ）

第3条 案内標識のうち「方面、方向及び距離」、 「方面及び距離（106-A）」、「方面及び方向の予告」及び「方面及び方向（108の2-A及びB）」の文字の大きさは、道路の設計速度に応じ、次の表の下欄に掲げる値（ローマ字にあっては、その2分の1の値）を基準とする。ただし、必要がある場合にあっては、これを1.5倍、2倍、2.5倍又は3倍に、それぞれ拡大することができる。

設計速度 （単位 キロメートル毎時）	文字の大きさ （単位 センチメートル）
-----------------------	------------------------

70以上	30
40, 50又は60	20
30以下	10



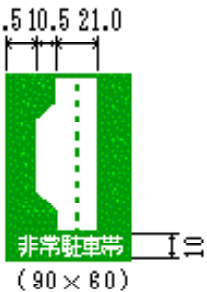
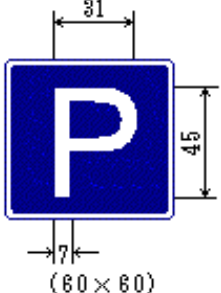

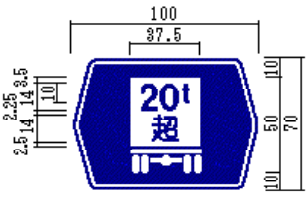
2 案内標識のうち「方面、方向及び道路の通称名の予告」及び「方面、方向及び道路の通称名」の文字の大きさは、矢印外のものについては前項の規定によるものとし、矢印中のものについては矢印外の文字の大きさの0.6倍とする。

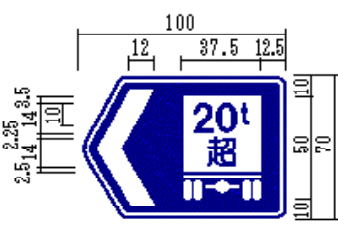
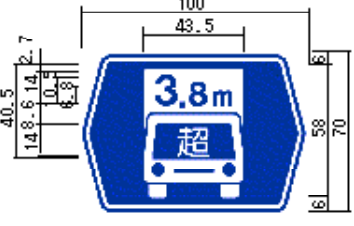
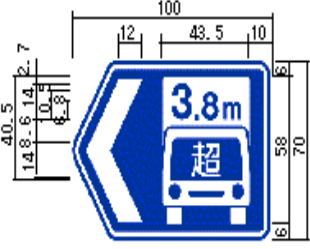




附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。



別表（第2条関係）

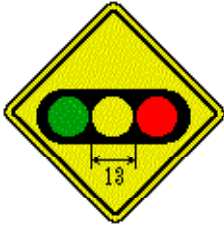





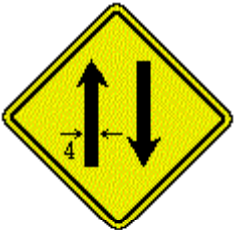
案内標識

非常電話 (116の2)	待避所 (116の3)	非常駐車帯 (116の4)
		
駐車場 (117-A)	登坂車線 (117の2-A)	総重量限度緩和指定道路 (118の3-A)
		
総重量限度緩和指定道路 (118の3-B)	高さ限度緩和指定道路 (118の4-A)	高さ限度緩和指定道路 (118の4-B)

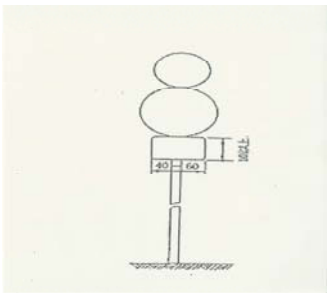

		
道路の通称名 (119-A)	道路の通称名 (119-B)	道路の通称名 (119-C)
		
まわり道 (120-A)		
 <p>(80×45)</p>		

警戒標識

本標識板の規格	+形道路交差点あり (201-A)	右 (又は左) 方屈曲あり (202)
		
信号機あり (208の2)	落石のおそれあり (209の2)	路面凹凸あり (209の3)

		
合流交通あり (210)	車線数減少 (211)	幅員減少 (212)
		
二方向交通 (212の2)		
		

補助標識

補助標識板の規格 (注意事項(510)を除く。)	注意事項 (510)
	

備考

- 1 表中の番号及び記号は、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令別表第

- 1 種類の欄に定める標識に応じ、同表番号の欄に定める番号及び記号を示す。
- 2 図示の寸法の単位は、センチメートルとする。
- 3 本標識板（本標識の標示板をいう。以下同じ。）の寸法
  - (1) 本標識板の寸法は、図示の寸法を基準とする。
  - (2) 「駐車場」を表示する案内標識については、便所を表す記号を表示する場合にあっては、横寸法を図示の寸法の2.5倍まで拡大することができる。
  - (3) 「駐車場」，「総重量限度緩和指定道路」，「高さ限度緩和指定道路」及び「まわり道」を表示する案内標識並びに警戒標識については、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては図示の寸法（前号に規定するところにより横寸法を拡大する場合にあっては、当該拡大後の図示の寸法）の1.3倍，1.6倍又は2倍に、それぞれ拡大することができる。
  - (4) 「登坂車線」，「道路の通称名」を表示する案内標識については、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法の1.5倍又は2倍に、それぞれ拡大することができる。
  - (5) 「道路の通称名」を表示する案内標識については、表示する文字の字数により図示の横寸法（「道路の通称名（119-C）」を表示するものについては、縦寸法）を拡大することができる。
  - (6) 前各号の規定にかかわらず、道路の状況により特別の必要がある場合にあっては、各標識を必要な大きさに拡大し、又は縮小することができる。
- 4 本標識板の文字等の大きさ等
  - (1) 寸法が図示されている文字及び記号の大きさは、図示の寸法を基準とする。
  - (2) 「駐車場」を表示する案内標識に便所を表す記号を表示する場合の当該記号の大きさは、駐車場を表示する記号の0.7倍以下の大きさとする。
  - (3) 縁，縁線及び区分線の太さは、次の寸法を基準とする。
    - ア 案内標識

縁は、「待避所」，「駐車場」及び「まわり道」を表示するものについては9ミリメートル，「総重量限度緩和指定道路」及び「高さ限度緩和指定道路」を表示するものについては16ミリメートル，「登坂車線」を表示するものについては10ミリメートル，「道路の通称名」を表示するものについては8ミリメートル，その他のものについては日本字の大きさの

20分の1以上の太さとし、縁線及び区分線は、日本字の大きさの20分の1以上の太さとする。

イ 警戒標識

縁及び縁線は、12ミリメートルとする。

5 補助標識板（補助標識の標示板をいう。）

補助標識は、その附置される本標識板の拡大率又は縮小率と同じ比率で拡大し、又は縮小することができる。

提案理由

この条例を提出したのは、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律が制定され、道路法が改正されたことに伴い、市道に設ける道路標識の寸法について新たに本市の条例において定める必要による。